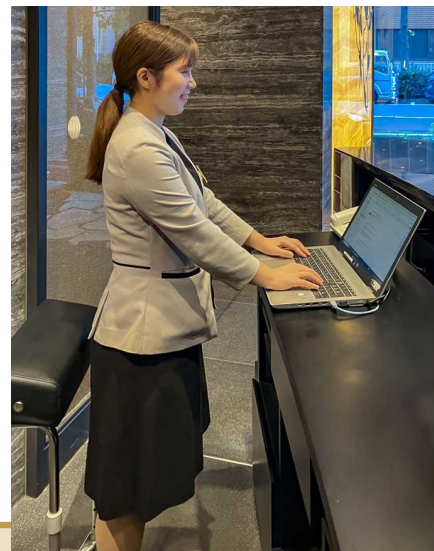


株式会社ビスタホテルマネジメント

取り組み内容

ホテルのフロントスタッフの足腰への負担を軽減するために、軽く腰を掛けられる「マイナビバイトチェア」を設置しています。これにより、接客に余裕が生まれ、お客様へのサービスの質も向上しています。

また、チェックイン前後の荷物が増える時間帯や混雑時には、イスを畳み、必要な時に柔軟に活用できるようになっています。



事業者の声

ホテルのフロントスタッフが立って接客するという固定観念を払拭し、従業員の働きやすい環境を目指して「座ってイイッス」を導入しました。導入後はお客様からのマイナスなお声はなく、従業員からも喜びの声を受け取っております。座って働ける環境は、従業員にとって快適な職場環境を提供し、雇用主にとっては離職率の低下や定着率の向上につながる可能性があります。当社でも、従業員と雇用主の双方にとってより良い職場環境を整えるための取り組みを進めていきたいと考えています。

現場の労働者の声

最初は使い勝手に慣れない部分がありましたが、イスに座って作業することで、負担が軽くなり、身体だけでなく心にも余裕が生まれました。軽く腰を掛けられるので、カウンター越しだと座っているように見えづらくなっているため、お客様からの見え方も気になりにくく、落ち着いた接客に繋がっております。チェックイン前後の混雑する時間にはイスを畳むことで作業スペースを確保でき、事務作業が多い夜勤の時間帯には座って作業ができるので非常に助かっています。

その他の取り組み

一人ひとりの負担を減らし、従業員の満足度を上げるための様々な取り組みを行っております。

- ・従業員の業務負担軽減のため「自動精算機」「自動会計処理」などによるDX化
- ・多言語コンシェルジュソフト導入等によるDX化
- ・2025年1月に一部を除いたホテルで2日間の休館日を設定（365日24時間営業を一部抑制）